

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 210-0864

住 所 川崎市川崎区池上町2番1

氏 名 エヌケーケーシーMLS鋼管(株)
代表取締役 板橋 英治

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	エヌケーケーシーMLS鋼管株式会社		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市川崎区池上町2番1		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	E	製造業
	中分類	22	鉄鋼業
主たる事業 の内容	継目無鋼管の製造・販売		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	16,554	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	2019 年度 ~ 2021 年度 (報告年度 2021 年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況 (第1、2、4号該当者等)

(1) 計画期間における温室効果ガスの排出の量等の状況

ア 温室効果ガスの排出の量

	基準年度 (2018 年度)	第1年度 (2019 年度)	第2年度 (2020 年度)	第3年度 (2021 年度)	目標排出量
排出量 (t-CO2)	(実) 38,141 (調) 37,810	(実) 38,462 (調) 38,115	(実) 31,741 (調) 31,512	(実) 29,399 (調) 29,309	(実) 36,767 (調) 36,441
削減率		(実) -0.8 % (調) -0.8 %	(実) 16.8 % (調) 16.7 %	(実) 22.9 % (調) 22.5 %	(実) 3.6 % (調) 3.6 %

イ 温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値 (任意記載)

原単位等の活動量	生産量 t			原単位等の単位	t-CO2/t-生産量
	基準年度 (年度)	第1年度 (年度)	第2年度 (年度)	第3年度 (年度)	目標とした値
排出量原単位等の値					
活動量の値					
排出量原単位等の削減率		%	%	%	%

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況等についての説明

第1年度	基準年において排出量の99%余りを占める主たる排出源である継目無管工場の生産量が基準年のそれに対して約5%増加するも、その増加量は、排出係数の寄与分(3%減)と省エネによる削減効果等(1.1%減)により、0.8%増となった。
第2年度	コロナ禍による生産減に伴い、CO2排出量は昨年度に対して-16.8%と大幅に減少した。また、CO2排出削減対策の延期により、当初計画に対してCO2削減量が微減となった。
第3年度	年間生産量は基準年度に対して、19.4%の減となったが、CO2排出量はそれを上回る22.5%(調整後排出量)の削減となり、排出原単位に対しても基準年度より4.9%の減少となった。少ない生産量に対応した柔軟な稼働の集約を行う事で、炉の放熱量を抑える、待機電力が削減され、エネルギー使用量をコンパクトにし稼働していたことが大きいと考える。
計画期間における排出量増減等の評価 (第3年度の報告時に記載)	省エネに対応した設備の導入、及び会社全体を通じた省エネ活動を行った結果、品種や生産構成に柔軟に対応した。
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)	会社解散が決定し、令和4年度以降は生産活動が終了するため、特記無し。

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況 (全社目標) (任意記載)

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況

(1) 措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない装置を実施した場合は、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

<p>計 画</p>	<p>① 燃焼炉の省エネ診断を外部機関により実施し、 空燃比の最適化による燃焼ガスの削減 ② 加熱炉のレキュペレータ老朽更新による排熱回収効率等の向上 ③ 燃焼用ブロワーの小型化による低負荷時の電力削減 ④ 変圧器と空調設備の老朽更新による電力削減</p>
<p>第1年度</p>	<p>③ 燃焼用ブロワーの小型化による低負荷時の電力削減 小径管工場の既存の加熱炉燃焼用ブロワーに変えて保熱時および作業時の必要送風量に合わせた小型ブロワーを第一年度末に設置完了し、運転を開始した。 ④ 変圧器と空調設備の老朽更新による電力削減 絶縁油に低濃度PCB含有の老朽化した変圧器(3台)を高効率の変圧器に更新。加えて電気室等の空調機も6台更新した。</p>
<p>第2年度</p>	<p>④ 変圧器と空調設備の老朽更新による電力削減 絶縁油に低濃度PCB含有の老朽化した変圧器(6台)を高効率の変圧器に更新。加えて電気室等の空調機も4台更新した。</p>
<p>第3年度</p>	<p>2021年11月に会社解散が決定し、設備投資計画が全て中止となった。</p>
<p>計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)</p>	<p>各炉に設置されているブロワーの更新、老朽した変圧器、空調器を計画的に更新できた一方、排熱回収を行うレキュペレータの更新が高額でできなかったのは残念である。</p>

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 前年度における再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(追加検討を実施した場合は「○」、追加の検討を実施していない場合は「×」を記載してください。また、追加検討を実施した場合はその結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	追加検討の有無	検討結果
太陽光	X	
風力	X	
バイオマス	X	
未利用エネルギー	X	
その他 ()		
その他 ()		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度

(3) 前年度に実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入状況

(追加導入がある場合は「○」、追加導入がない場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	追加導入の有無	設備等の種類	追加導入の有無
電気自動車等への充電設備	X	エネルギー管理システム (FEMS、BEMS等)	X
電気自動車等から建物等への給電設備	X	その他 ()	
EV、PHV、FCV	X	その他 ()	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計 画	特になし
第1年度	
第2年度	
第3年度	

5 その他、地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計 画	<ul style="list-style-type: none"> ○廃棄物の排出量の把握および削減に係わる対策 ○エコ運搬制度の荷主としての活動推進 ○川崎温暖化対策推進会議への参加
第1年度	<ul style="list-style-type: none"> ○廃棄物の排出量の把握および削減に係わる対策 産業廃棄物の発生を抑制し、運搬委託量を削減した。 ○エコ運搬制度の荷主としての活動推進 運搬委託契約書へのエコドライブ条項を追加した。 ○川崎温暖化対策推進会議への参加 事業活動省エネルギー対策セミナー(R2.2月)に参加した。
第2年度	<ul style="list-style-type: none"> ○廃棄物の排出量の把握および削減に係わる対策 産業廃棄物の発生を抑制し、運搬委託量を削減した。 ○エコ運搬制度の荷主としての活動推進 運搬委託契約書へのエコドライブ条項の追加した。
第3年度	<ul style="list-style-type: none"> ○廃棄物の排出量の把握および削減に係わる対策 産業廃棄物の発生を抑制し、運搬委託量を削減した。 ○エコ運搬制度の荷主としての活動推進 運搬委託契約書へのエコドライブ条項の追加した。

6 基準年度からのエネルギー起源CO₂の排出の量等の推移（1、2号該当者等）

(1) 事業者単位

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
エネルギー起源 CO ₂ 排出量	38,141 t-CO ₂	38,462 t-CO ₂	31,741 t-CO ₂	29,399 t-CO ₂
原油換算エネルギー 使用量	20,645 KL	21,012 KL	17,381 KL	16,554 KL
事業所の数	2	2	2	2

(2) 事業所等単位

ア 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量 (t-CO ₂)			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
継目無管工場	川崎区池上町2番1	37,877	38,199	31,512	29,177

イ 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量 (t-CO ₂)			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
無					